

平成 28 年度概要版

「しなのきプラン29」

～長野市の子どもたちの「知・徳・体」をバランスよく伸ばしていくために～



目指す人間像

グローバルな視野を持ちながら、ローカルにたくましく生きる自立した18歳

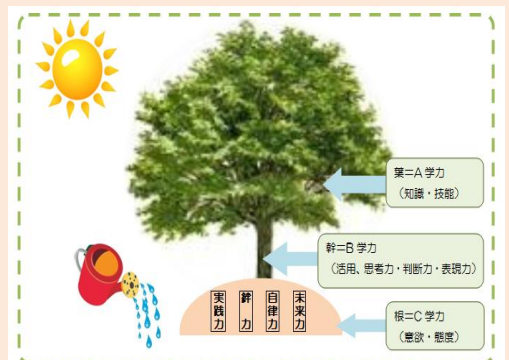
少子・人口減少社会、グローバル社会、高度情報化社会等の激動の時代を、子どもたちが生き抜くための確かな力を育むために、子どもの育ちや学びの連続性に着目し、一貫した教育体系を構築する必要があります。平成 27 年 4 月、長野市教育委員会では、「教育振興基本計画」の個別分野の具体的な実施計画として、「しなのきプラン29」を策定しました。子どもに関わるすべての大人は、社会への出口である18歳の目指すべき姿を共有し、責任を果たしていくことが大切です。そのため、関係する皆様に本プランの内容をご理解いただき、家庭、地域、学校と市教育委員会が心をひとつにして、プランの推進にあたりたいと願います。

しなのきプランの特徴

長野市の学力観を定義し、プランを検証・改善しやすくしました。

○ 長野市の学力の定義
A 学力、B 学力のみならず、子どもたちの「意欲・態度」の C 学力についても客観的な数値で表すことによって、市教育委員会や学校の取組の検証改善に活かすことができると考え、長野市独自の学力観を下記のとおり定義しました。

- A 学力⇒知識・技能
- B 学力⇒活用する力、思考力・判断力・表現力
- C 学力⇒意欲・態度：長野市が大切にしたい資質・能力（基礎的・汎用的能力）
- 未来力⇒将来の夢や目標と見通しを持ち、努力を継続できる力（キャリアプランニング能力）
- 自律力⇒規範意識を持ち、自己をコントロールする力（自己理解・自己管理能力）
- 絆力⇒他者を尊重し、積極的に人間関係を築こうとする力（人間関係形成・社会形成能力）
- 実践力⇒獲得した知識・技能及び思考力・判断力・表現力を駆使して、粘り強く課題に対応し行動する力（課題対応能力）



○ 課題と目標
全国学力・学習状況調査結果を学力分布やその経年変化に着目して分析し、平成 29 年度の検証に向け下記の目標を設定しました。

学年	全国学力・学習状況調査における課題	目標
A	(中学生) 正答率 40% 以下の生徒の割合	⇒ 全国比 100 を下回る
B	(中学生) 「活用力」(B問題)	⇒ 全国比 100 を上回る
C	(小中学生) 「実践力」	⇒ 全国比 100 を上回る

①A 学力を基盤にして、B 学力を高め、C 学力を向上させること
②C 学力に働きかけ、B 学力を発揮する場を提供することにより、A 学力を高めること
①②の両アプローチによって、若木をたくましい大木に育てます。

時間をかけて、たくましく育てます。

○策定中の「第2次教育振興基本計画」(H29～H33)と「しなのきプラン29」との整合を図ります。
○策定中の「乳幼児期の保育・教育の指針」(H29～H33)との連続性、一貫性を大切にします。

平成 27 年度に小学校へ入学した子どもが、平成 35 年度中学校卒業時に大きな成果を得ていることを目指します。

年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35
長野市教育振興基本計画(5カ年計画)	⇒第1期		第2期				第3期 ⇒		
しなのきプラン(3ヶ年×3期計画)	プラン29(第1期)		プラン32(第2期)				プラン35(第3期)		

学校の5つの取組

- 1 基礎基本の定着
 - 2 授業規律・学習規律の確立
 - 3 授業とつながる家庭学習の充実
 - 4 各種調査の活用
 - 5 同僚性の向上
- ◎【しなのき授業スタンダード】の普及

家庭の7つの取組

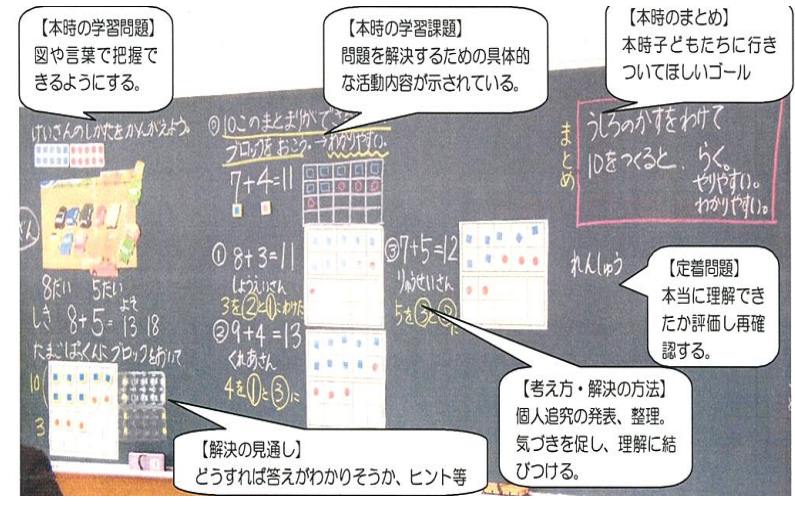
以下に掲げる7つの項目と全国学力・学習状況調査の正答率には相関関係があります。

- 1 毎日、朝食を家で食べさせましょう
- 2 規則正しい生活をさせましょう
- 3 ゲームや携帯電話、スマホの時間のルールを決めましょう
- 4 学校での出来事について、話を聞きましょう
- 5 できるだけ、授業参観や運動会などの行事に行きましょ
- 6 ニュースに関心を持たせましょう
- 7 良いところをたくさん見つけ、どんどんほめましょう

平成 28 年 2 月 7 日、「長野上水内中学校生徒会サミット」が行われました。生徒たちは、各校の生徒会活動についての情報交換に続き、身近な問題であるスマホやインターネット利用について意見交換をしました。そして、「考えよう 使う理由と画面の向こう」をスローガンに、各校でも適切な利用の仕方について考え、注意を呼びかけていくことにしました。



「しなのき授業スタンダード」の普及に努め、日々の授業改善を進めています。



1時間の授業を振り返ることができる板書

教育委員会の取組 29

取組の視点	番号	プラン名
1 学びの質や広がり の保障 重点Ⅲ	1	グローバルな視野の育成
	2	「地域を知り、地域に根ざした学習」の充実による地域貢献力の育成
	3	キャリア発達を促す基礎的・汎用的能力の育成
	4	豊かな体験活動等による創造力や感性の醸成
	5	健康・体力の保持・向上
	6	リテラシーの向上
2 学びをつなぐ 学校種間の連携 (幼保小中高) 重点Ⅰ	7	幼保小の連携推進
	8	小中連携・一貫教育の推進
	9	中高一貫教育の推進
	10	キャリア教育を主軸とした小中高一貫教育カリキュラムの開発
3 学びの基盤整備 (安全・安心な 教育環境) 重点Ⅱ	11	いじめのない安心な学校づくり
	12	不登校の未然防止と不登校児童生徒へのきめ細かな支援
	13	障害のある児童生徒への支援
	14	社会的援助を必要とする児童生徒への支援
	15	教育相談体制の充実
	16	災害に強い学校環境の整備と交通安全・防犯教育の推進
	17	外国人児童生徒への日本語・生活指導の充実
4 学びを支える 家庭・地域との 連携 重点Ⅱ	18	特色ある開かれた学校づくりへの支援
	19	家庭との連携による基本的な生活習慣の確立
	20	少子・人口減少社会に向けた活力ある学校づくり
	21	家庭や地域におけるコミュニケーションの充実
	22	学校、家庭、地域を繋ぐ情報の発信と共有
5 学びを導く 教員の力量向上 重点Ⅲ	23	子どもと向き合う時間の確保・充実を図るための業務改善
	24	授業改善のための各種調査の活用
	25	授業改善のためのしなのき授業スタンダードの普及
	26	各校の授業研究組織力の向上
	27	教員の授業力の向上
	28	授業改善のための情報発信と支援
	29	「各学校の取組5」への支援

「しなのきプラン29」は、長野市教育委員会事務局 学校教育課のHPに掲載してあります。
(長野市HP⇒教育委員会⇒学校教育課⇒「しなのきプラン29」)

ご意見・ご感想をお寄せください。
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町 1613 番地 メール gakukyou@city.nagano.lg.jp
TEL 026-224-5063 FAX 026-224-5086 長野市教育委員会事務局 学校教育課

○ 質問紙調査より【C学力】 (全国=100)

※質問紙の回答を数値で表しました。()内は平成26年度の結果

	小学校	中学校	主な質問項目
未来力	107.1 (106.2)	104.2 (104.2)	将来の夢を持っていますか。
			人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
自律力	100.1 (99.9)	100.5 (99.5)	学校のきまりを守っていますか。
			家で、学校の宿題をしていますか。
絆力	100.8 (100)	99.9 (100.5)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。
			学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。
実践力	96.2 (96.1)	94.9 (92.5)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。
			「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。

長野市の児童生徒の良さと課題

【A・B学力について】
 ◎小学生は、AB学力とも良好な結果となりました。
 ●中学生の基礎的な知識・技能(A学力)の定着に課題が見られます。
 ●中学生は、特に活用する力(B学力)に課題が見られます。
 【C学力について】
 ◎将来の夢や目標と見通しを持ち、努力を継続できる力や、地域とのつながり(未来力)に関しては、良好な結果となりました。
 ●獲得した知識・技能及び思考力・判断力・表現力を駆使して、粘り強く課題に対応し、行動する力を育むこと(実践力)に課題が見られます。

○ 教科に関する調査より【A・B学力】 (全国=100)

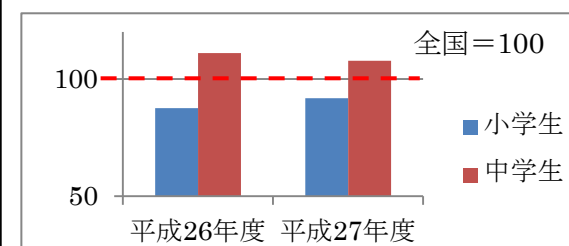
①小学校全体 ()内はH26年度の結果

	長野市	長野県	全国	長野市(全国比)
国語A	70.7	70.4	70.0	101.0(100.8)
国語B	66.2	66.4	65.4	101.2(103.1)
算数A	75.3	75.0	75.2	100.1(101.7)
算数B	46.6	45.4	45.0	103.6(102.9)
理科	62.6	61.3	60.8	103.0

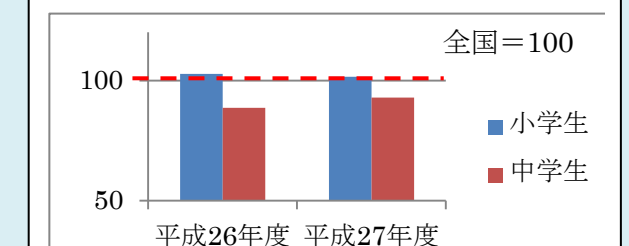
②中学校全体 ()内はH26年度の結果

	長野市	長野県	全国	長野市(全国比)
国語A	75.2	76.2	75.8	99.2(99.6)
国語B	64.1	65.0	65.8	97.4(95.5)
数学A	62.6	63.5	64.4	97.2(98.4)
数学B	39.8	40.6	41.6	95.7(95.5)
理科	51.9	52.8	53.0	97.9

正答率40%以下の児童生徒の全国比 (国語A,B 算数・数学A,Bの平均)



正答率80%以上の児童生徒の全国比 (国語A,B 算数・数学A,Bの平均)



しなのきプラン29の重点

- I 児童生徒の学びをつなぐ「幼保小中高」の円滑な接続を図ります。
- II 児童生徒の基本的な生活習慣の確立と家庭学習の改善を図ります。
- III 教員の授業力向上と日常の授業改善を図ります。

平成28年度の主な新規・拡大事業

「しなのき授業スタンダード」の普及

学力向上と活力ある学校づくりの推進 (5 学びを導く教員力量向上)

幼保小中高連携の一層の推進 (2 学びをつなぐ学校種間の連携)

・「乳幼児期の教育・保育指針」の策定(こども未来部)

☆授業改善のために標準学力検査(NRT)の実施を小学4年生まで拡大します。また、活用問題調査(中学2年)の実施教科を3教科から5教科に拡大します。【プラン24】
 ☆4中学校区で『自立した18才を育成するための「学校づくり」事業』を実施します。【プラン26】
 ☆「学力向上フォーラム」を開催します。【プラン26】

☆教育委員会学校教育課に小中高連携推進室を設置します。【プラン10】
 ☆幼保小の円滑な接続のために接続期(アプローチ・スタート)カリキュラムを作成・実践します。【プラン7】
 ☆「活力ある学校づくり検討委員会」を設置し、市内小中学校の将来像について検討します。【プラン8・20】
 ☆小中連携のために「地域発 活力ある学校づくり推進事業」を11中学校区に拡大します。(児童生徒・教員の交流、合同学力分析等)【プラン8】
 ☆中高連携のために市立長野中学校(中高一貫教育校)の開校準備を進めます。【プラン9】

学校と家庭を支える相談支援体制の構築 (3 学びの基盤整備)

・障害者差別解消法施行に伴う副学籍や就学の相談のあり方について検討

☆不登校児童生徒一人ひとりの個別支援計画の作成を進めるとともに、SSW(1名)SC(1名)を新たに配置します。【プラン11】
 ☆いじめや不登校の早期発見のために「しなのき児童生徒意識アンケート」を年2回実施します。【プラン12】
 ☆特別支援教育充実のために、支援員を115名に増やします。【プラン13】
 ○家庭環境が教育格差につながらないように子どもの貧困対策の一環として、子どもの生活・学習支援(こども未来部)生活困窮者学習支援(保健福祉部)を実施します。【プラン14】

地域とともに進める学校づくり (4 学びを支える家庭・地域との連携)

☆地域に開かれた学校づくりのために、全校で長野市コミュニティスクールを推進します。【プラン18】
 ☆「家庭学習充実プロジェクト」を推進します。【プラン19】
 ○異年齢、世代間交流の促進と生活習慣の定着のため、コミュニティスクールと放課後子ども総合プランとの連携を強化し、支援の充実を図ります。(こども未来部)【プラン21】

多様な学びの機会の充実 (1 学びの質や広がり保障)

・学校給食における食物アレルギー対応の基本方針及びマニュアルの周知

「運動と遊びのプログラム」「わくわくリーダーズながの」「生徒会サミット」「姉妹都市友好都市派遣」「キャリア教育支援懇談会」等を継続して実施します。

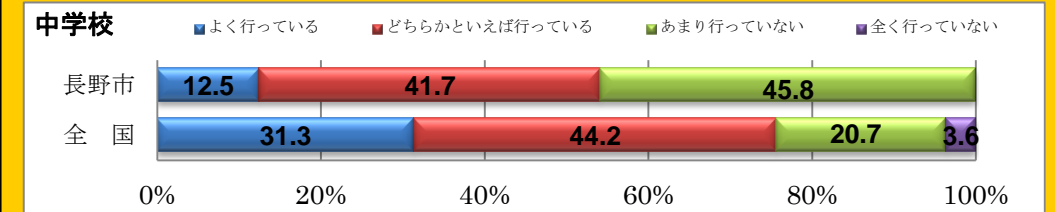
☆小学校低学年から情報処理推進機構(IPA)による情報モラル講座を実施するとともに、タブレット端末の有効活用を進めます。【プラン6】
 ☆総合的な学習の時間、特別活動等における「探究的な学習」の実践を進めます。【プラン1~6】

キャリア教育の一層の充実

全国学力・学習状況調査質問紙調査から見た長野市の課題

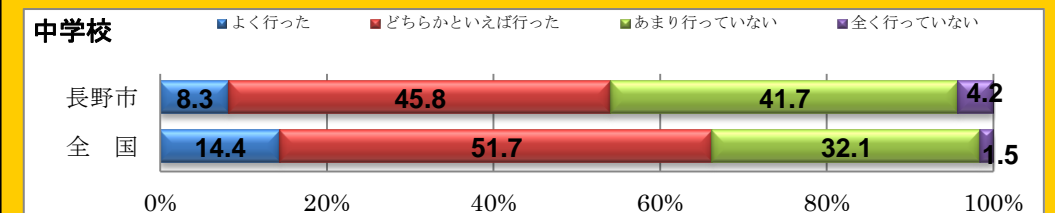
【小中学校の学習指導に係る連携の頻度(学校質問紙)】

「教科の指導内容や指導方法について近隣の中学校・小学校との連携(教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など)を行っていますか」



【調べたり文章を書いたりしてくる宿題(学校質問紙)】

「家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか」



【総合的な学習の時間の取組(生徒質問紙)】

「自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」

